

工作会 活動記録(H28-5) 報告書

報告者: 荒井皓至

行事名	工作会(研修会) 「木に実のストラップ工作」 & 「押し花のうちわ」
実施日時	2016年 5月 11日「水」 9時30分 ~ 15時 天候 : 曇り時々雨
場 所	ふらざこむ 1 2階21号室
参加人員	一般 : なし、 MNC会員 : 39名
参加者氏名	<p>1班 : (坂本、軸屋、大橋、詠田、村上、多田、田中、小林、大地(祥)、古跡、吉田、永野、三原、大地(敬)、小山) (15名)</p> <p>2班 : (岡田、平山、宮川、、永田、飯盛、松田(輝)、青山、香川、新宅、荒井石原、藤野) (12名)</p> <p>3班 : (坪田、三橋、松生、沼田、橘、齋藤(志)、西島、森本、西岡、澤井、牛塚、竹内) (12名)</p>
報告事項	<p>1. 午前中は「木の実のストラップ工作」です。 使用材はオニグルミとハンカチノキ。木の実そのものと、切断して汎用加工した見本21種類余をパネル掲示した。 加工方法については2種類の木の実を図示し、それぞれ裁断位置と方法を簡単に説明し、作業に入る。 今回、企画が良かったものか、参加者の感触は良かったように思えた。材の硬さと悪戦苦闘し、唯一無二の作品に仕上げた。自然材に近ければ近いほど愛着が出る。故に、殻斗、松かさ、ドングリ等も捨てがたく所狭いと占拠している。今回多くの方に材の提供を頂き余り有るものとみていたが、不足が出て迷惑をお掛けした事をお詫びします。</p> <p>2. 午後「押し花のうちわ」の工作 午前と異なり、個人の感性が活かされる工作である。近時ファミリー工作会で痛感することがある。指導する立場に有りながら、お子達の感性に驚かされる場面が目立ってきた。小生の経験が浅く、自覚に乏しかった為か。 プロがデザインし、涼を感じさせる図柄のうちわはありふれている。今更といい加減に取り組んだ。手間を掛けずに仕上げた。皆さんの出来映えを見渡した。どれを見ても、手作りの良さに驚いた。</p> <p>この度、始めて工作会をマネージさせて頂いた。至らぬ点が多々あり皆さんにご迷惑をお掛けした。幼稚な報告お許し下さい。木ぎれ一つ、竹片一つ、木の葉一枚の貼り絵 etc. 殆ど手を掛けない作品ほど価値多しと痛感した。</p>
連絡事項	<p>5月15日(日) 甲山ファミリーは草花の葉作りになっております。 工作に必要な備品関係類は2班で持参すべく準備完了です。恐れ入りますが工作会場での指導を 1, 3班の方、数人の応援をお願い致します。</p>



工作風景



木の实ストラップ見本



ストラップ作品



押花のうちわ作品